

当社グループが目指す未来に向けて

私たちは、当社グループにおける重要度の高い課題(マテリアリティ)を特定し、その活動目標として「エスビー食品ミッション」を掲げています。また、当社グループの目指すビジョン「おいしく、健やかで、明るい未来」の実現に向け、3つの長期テーマを設定しました。これらビジョン実現と長期テーマへの取組みの第一歩が、2023年度からスタートする第3次中期経営計画です。



【第2次中期経営計画の振り返り】2021年3月期～2023年3月期

第2次中期経営計画では、「『地の恵み スパイス&ハーブ』をコアコンピタンスとした事業を推進するとともに、持続可能な企業と社会の実現を目指す。」を基本方針のもと、「お客様のしあわせ」「従業員のしあわせ」「未来の人々のしあわせ」の3つを実現するべく、それぞれに重点戦略と重点施策を設定し、取り組みました。

財務目標の結果(連結)

	2023年3月期	
	目標	実績
売上高	1,190億円	1,206億円
営業利益	85億円	53億円
売上高営業利益率	7.1%	4.5%
ROE	9.4%	6.6%

売上高

食料品事業は、香辛調味料グループおよびインスタント食品その他グループをはじめ、各製品区分ともに伸長しました。調理済食品は、2019年9月の一部工場の事業譲渡により減少しました。

利益

1年目・2年目で最終年の目標値を超えるも、最終年は原材料価格の高騰などの影響を受け、目標値に届きませんでした。

非財務目標の結果

	主要香辛料の持続可能な調達	2023年 目標	2023年3月期 実績
		持続可能な調達に関するコミットメント	主要香辛料について、2030年を目標として、安全・人権・環境・コンプライアンスに配慮した持続可能な調達を目指す
	RSPO認証パーム油への切替え率	100%*	21.6%
	FSC認証紙への切替え率	100%*	73.9%
ダイバーシティの推進	女性管理職比率	20%	18.9%
	平均総実労働時間	1,800時間	1,880時間
従業員の健康推進	メタボリックシンドローム非該当者率	85%*	83.6%(推定)
	非喫煙率	81%*	79.9%

※ 2023年度中の目標値

RSPO認証パーム油・FSC認証紙切替え

2023年度中に、いずれも目標を達成する見込みです。

女性管理職比率

目標値までは届きませんでしたが、女性管理職の積極的登用を進めた結果、役員を含め、性別問わず適正な人財を適切なタイミングで登用する風土の醸成が進みました。

平均総実労働時間

目標に届きませんでしたが、時間外削減・年休取得の継続した取組み施策により労働時間管理に対する一人ひとりの意識向上と、特に年休を取得しやすい風土の醸成が進みました。

メタボリックシンドローム非該当者率

コロナ禍での活動量減少などにより進捗は遅れているものの、着実に改善傾向にあります。

経営課題

- 原材料・エネルギー価格、人件費などの高騰への対応
- 利益志向への転換・利益構造の改革
- 重点分野の強化継続による事業規模と利益の拡大
- 将来を見据えた新規事業・ビジネスモデルの創造
- Well-being・サステナブルへの対応

マテリアリティ(重要課題)

(◎ 関連ページ: P15-16)

- 食の安全・安心
- 地球温暖化・気候変動
- 食品廃棄(フードロス)の発生・増大
- 食品容器の利用に起因する環境問題
- 食のニーズの多様化への対応
- 食による健康被害の発生 etc.

長期テーマ

長期目標
海外売上高比率40%超

探求と挑戦
スパイス&ハーブの
機能性研究・産地開発

人財力の強化
グローバル人財・デジタル人財・研究者

おいしく、
健やかで、
明るい未来

第3次中期経営計画

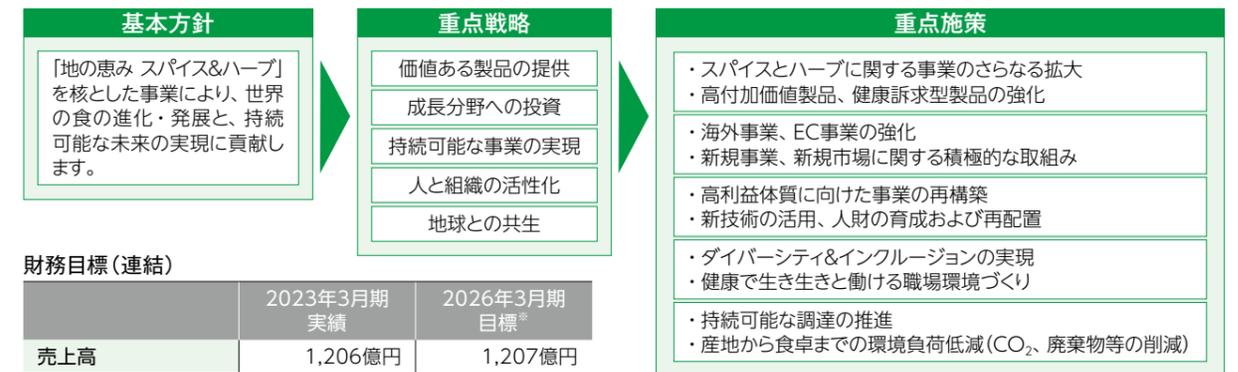
2026年
3月期

2024年
3月期

【第3次中期経営計画】2024年3月期～2026年3月期

第3次中期経営計画では、「『地の恵み スパイス&ハーブ』を核とした事業により、世界の食の進化・発展と、持続可能な未来の実現に貢献します。」を基本方針に定め、第2次中期経営計画を経て明らかになった経営課題を踏まえて、この方針のもと、5つの重点戦略について10の重点施策を中心に取り組んでいきます。

方針・戦略



財務目標(連結)

	2023年3月期 実績	2026年3月期 目標*
売上高	1,206億円	1,207億円
営業利益	53億円	64億円
売上高営業利益率	4.5%	5.3%
ROE	6.6%	6.0%

※2024年3月に、株式会社ヒガシヤデリカが運営する調理済食品事業の事業譲渡を予定しています。(2023年3月期 売上高132億円、営業利益7億円)

非財務目標

エスビー食品ミッション	KPI	2026年3月期目標
安全・安心への取組み強化	品質保証部門と各工場による「品質保証協議会」の実施率	100%
環境負荷の低減、社会・環境に配慮した製品の提供	石油由来プラスチック製パッケージ削減率: 2020年度比	3%減
	家庭用レトルト製品のレンジ対応化率	40%
グローバル社会に適応した多様化の推進	主要香辛料、パーム油、紙の持続可能な調達を推進*	—
	男性・女性の新卒採用比率	それぞれ40%以上
	男性の育休取得率	80%
	年次有給休暇取得率	80%
お客様や従業員の健康・安全	従業員エンゲージメント指標の向上率: 2022年度比	5%増
	レシピサイト掲載の減塩レシピ数	60レシピ
	カレー製品(即席ルウ、レトルト)の塩分削減率: 2020年度比	1.5%減
	「食事」「運動」「睡眠」に関する生活改善プログラムの実施率	70%
	保健師・栄養士による特定保健指導の実施率: 期間累計	100%

※「持続可能な調達に関するコミットメント」、2030年目標